



# 大阪港 海上人デ開催

定大阪支部で開催した。初夏らしく澄みわたる空の下、総勢一〇〇名あまりの参加者のなか、主催者を代表して小嶋執行委員長が挨拶を行った。その後、乗船場まで参加者全員で行進してベイワールド号に乗船した。中央突堤を出港したベイワールド号は、大阪港を約一時間かけて一巡し海上から港湾メーデーの団結をアピールした。



寶七全基共報上團了進

五月一日、十三時から那覇新港埠頭横の中央緑地公園で第二十六回港湾マーケー<sup>ト</sup>が開催された。今年は平日開催となり参加者は沖縄の地本社従及び組合員、組合員の家族も含め約三〇〇名となつた。

沖縄は変わったメーカーとして、沖縄独自の港湾メーカー開催をしておりましたので、今後は沖縄のメーカーを紹介します。

# 第40回 懐浜港マーチ



# 保障のことなら **全労済** 全国労働者共済生活協同組合連合会

党より立憲民主党 日本共産党、社会民主党の代表者より挨拶をいただいた。  
メーデースローガン・メーデー宣言が採択され、奥村副実行委員長よりデモ隊列の説明が行われた後、三隊編成によるデモ行進がプラットホームへ万国橋へ海岸通りへ大桟橋入口へ山下公園前を通り終点である山下埠頭までデモ隊列を崩さず行進が行われた。

沖縄地本の開催目的は『労働運動の発展と組織の結束を図るとともに組合員

五月一日、十三時から那覇新港埠頭横の中央緑地公園で第二十六回港湾マーケー<sup>ト</sup>が開催された。今年は平日開催となり参加者は沖縄の地本社及び組合員、組員の家族も含め約三〇〇〇名となつた。

# 第26回 沖縄港湾メモ

第26回 横浜港メーデー開催

ところで青年部が中心となり、第二部が始まります。まず、初めにピングゴゲーです。毎年、もれなく参加者全員が当たるよう景品が準備され、今年は先着五名には他の景品よりも良い物が準備され当たった方々は、我さきへと舞台へ向かいます。また五月の沖縄は夏、青年部が大人も子どもも喜び、かき氷とポップコーンを無料配布し暑さをしのいでいます。『フジギヤ』

しだが、国内の森友・加計問題、自衛隊の日報問題、辺野古新基地建設、那覇裁判の現状、我々が今後どのうに団結し取り組んでいかなければならぬのか等、参加された組合員と結束を強めた港湾メーデーとなりました。

着いたら終了予定の十六時  
まではカラオケタイム、青  
年部や委員長が楽しく歌い  
場を盛り上げています。建  
てられたテントの下で  
家族や組合員と和気藹々し  
ている姿は各分会間、組織  
間の交流または親睦を生ん  
でいると確信しています。  
今後も、組合員、家族を大  
切にできる独自の港湾メー  
ティーを開催していきます。

# リレー隨筆

## ～インスペクター日誌～



# 各地区港湾コラム② ～東北地区港湾～

# リレー隨筆

## ～インスペクター日誌～